

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年10月31日

計画の名称	あきる野市における循環のみちの実現（第2期）（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	あきる野市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,082	A	1,082	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道処理人口普及率を93.7%（H27）から94.5%（H32）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）	94%	94%	95%
2	下水道による都市浸水対策達成率を0%（H27当初）から1.5%（H32）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）/事業計画区域（事業認可区域11ha）（ha）	0%	0%	2%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	あきる野市	直接	あきる野市	管渠(汚水)	新設	汚水枝線整備	200mm、75mm L = 922 6m	あきる野市						919	-	
	A07-002	下水道	一般	あきる野市	直接	あきる野市	管渠(雨水)	新設	雨水幹線整備(折立排水区11na)	樋門詳細設計・工事 管きょ設計工事(1500 * 1500 L = 90m)	あきる野市						163	-	
												小計						1,082	
											合計						1,082		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

あきる野市下水道事業社会資本総合整備計画評価委員会設置要領に基づき、あきる野市都市整備部長を委員長に委員会を設置し、事後評価を行う。

事後評価の実施時期

令和4年10月

公表の方法

あきる野市ホームページへ記載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

市内の下水道未整備地区において汚水枝線整備を行ったため、下水道の整備率及び処理人口普及率が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

市内の下水道未整備地区について、この整備計画で未施工となった区間は、社会資本整備計画「あきる野市における循環のみちの実現（第3期）」において、引き続き汚水枝線整備及び雨水幹線整備を実施し、下水道処理人口普及率及び都市浸水対策の達成率の向上に努めていく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率	
	最終目標値	95%
	最終実績値	94%
度重なる入札不調や土地区画整理事業地内の工事・設計の一時中止などにより事業に遅れが生じたため、目標より実績が下回った。		
2	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値	2%
	最終実績値	0%
河川管理者との調整が整わなかったことにより事業開始が遅れたため、令和2年度末時点で供用開始に至らなかった。		